

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q1	日常対策編	14	エタノール濃度の第1選択、第2選択とはなにか。濃度、60～83vol%のエタノールに有効性が認められており、それ以下やそれ以上は効果が認められていない、又は不明ということでしょうか。また、有効な濃度のうち、第1選択の濃度がより効果的であるということでしょうか。	最も消毒効果が優れているエタノール濃度は80vol%前後とされています。新型コロナウイルスに関しては、60vol%のエタノールでも一定の有効性があるとの報告があります。70vol%以上のエタノール消毒の入手が困難な場合には、60vol%台のエタノールを使用しても差し支えありません。無水エタノール（エタノール濃度99.5vol%以上）のような高濃度過ぎるものは消毒効果が低下します。また引火性が高い、揮発性が高い、手肌が荒れやすいなど、使用には危険が伴います。	共同生活援助事業所
Q2	日常対策編	14	エタノール濃度について、第1選択は70～83%、第2選択は60%台ということであるが、この違いは、かける量によって解決できる問題なのか？（例えば、60%台であれば、70%のものより1.5倍かけるとか）		共同生活援助事業所
Q3	日常対策編	15	容器の洗浄 エタノール容器は6ヶ月に1回の洗浄が必要とのことであったが、水洗いでいいのか？	容器は基本的には詰め替え毎に水道水で洗浄し、十分に乾燥してください。	共同生活援助事業所
Q4	日常対策編	17	ハンカチは乾きが悪く、感染の要因となるとのことであったが、感染した方が、手を洗いハンカチで拭いた後、手すり等を触り、その後、別の方が手すり等に触れた場合感染する恐れが高いということでのよいのか？	生乾きのハンカチやタオルは細菌が繁殖しやすいため、日常から共有での使用を控える、もしくは、定期的に新しいものに交換する、個人専用にするなどの対応が望ましいです。 新型コロナウイルスに限らず、物を介し接触感染をする細菌やウイルスは多数です。ハンカチやタオルを含め、日常的になるべく物は共有しない、共有するものや場所は洗浄や消毒を行うなどしましょう。	共同生活援助事業所

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q5	日常対策編		医療従事者でなくても常日頃から常時ガウン、手袋、フェイスシールドまで必要なのか。体調不良者等への支援時のことを言っているのか。	<p>感染症の有無に関わらず、全ての人の血液・体液・分泌物・排泄物（湿性生体物質）は感染性があると考え、それらを取り扱う際は自身の身を守るために、個人防護具を選択して（組み合わせ）使用する必要があります（日常対策編スライド19）。</p> <p>感染症にかかりその原因となるウイルスや細菌（病原体）が分かった場合や疑わしい場合、自身がうつらない・他者にうつさないために、感染経路を遮断する対策を行います。</p> <p>新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染です。特に接触予防策では、陽性者自身やその周囲環境はウイルスに汚染されていると考えて対策を行います。湿性生体物質を取り扱わないケアの場合（検温や体位交換だけの場合など）でも、手袋やガウンの着用が必要ですし、使用後の手袋やガウンはウイルスが付着していると考えられるため、適切な場所で脱衣する必要があります（症例発生編スライド28）。</p> <p>これらは医療現場に限らず介護・保育、更には日常生活においても同様の考え方と言えます。</p>	共同生活援助事業所
Q6	日常対策編	32	次亜塩素酸の希釈濃度が〇〇%に薄めて使用する等の表記となっているが、PPM表記の場合、それぞれ〇〇PPMが有効なのか？	0.05%=500ppm、0.1%=1000ppmです。	共同生活援助事業所
Q7	症例発生編	9	一軒家のGHでトイレ、洗面所、お風呂が1か所しかない場合、どのようにゾーニングしたらよいか。	<p>トイレや洗面所、お風呂が1か所しかない場合は、使用時間をずらす（入浴は最後にする）、使用後は洗浄・消毒を行うようにしてください。</p> <p>入浴について、疑い症例の場合は清拭で対応する、どうしても入浴する場合は次の方の使用まで間隔があげられるよう最後にするなどの工夫をしてください。浴室の清掃は独立行政法人製品評価技術基盤機構「有効な界面活性剤が含まれる製品リスト（7月13日版）」に掲載されている浴室用洗剤を用いて、製品に記載された使用方法で洗浄してください。</p>	共同生活援助事業所
Q8	症例発生編	44	ゾーニングした区域に風呂や洗面所、トイレはあるが、1か所ずつしかないのが疑い症例の方のトイレ、風呂は「個室」とあるが共用で使用するしかない場合の使い方について教えていただきたい。例えば、次の方の入浴まで間隔をあげた方がよいのか、また開けるなら何分ほどあげたほうがよいのか等。資料には必要な清掃等を行うとありますが、必要な清掃の内容について具体的に教えていただけるとありがたいです。	<p>洗面所も浴室同様の方法で洗浄されると良いですが、洗面所は特に歯磨きなどで汚れが飛び散っている可能性がありますので、洗浄頻度は可能であれば歯磨き毎にするのが良いでしょう。</p> <p>トイレは使用後に高頻度接触面（ドアの取っ手、水栓のノブやボタン、手すりなど）を清拭消毒しましょう。</p>	共同生活援助事業所

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q9	症例発生編		有症状者が発生しゾーニングを行った際に建物の構造上無症状者を汚染区域に留めさせなければならないときに本人がそれを拒否した場合などどのような対応があるのでしょうか？	質問者に確認しましたところ、有症状者が多く、無症状者が施設内にいることを拒否した場合、どうしたら良いかというご質問とのことです。有症状者が新型コロナ陽性であった場合、無症状者が濃厚接触者の場合はそのままその施設に留めてください。無症状者が濃厚接触者でない場合、本人が施設に留まるのを拒否した場合の対応は、ご施設・ご家庭などその方の周囲環境にもよることと思いますので、お答えできかねます。	障害者支援施設
Q10	症例発生編	25	帰国者・接触者外来もしくはPCR検査センターへ送迎する際、家族対応ができず、施設対応となった場合、どのような部分に気をつけて送迎を行えばよいのでしょうか？送迎を行う支援員は个人防护具着用とそれ以外にできる対策もあれば教えていただきたいです。あと、送迎が困難な場合、要相談となっていたが、送迎手段が他にあるということなのでしょうか？	送迎時にできる対策としては、換気、なるべく離れた位置に座る、車内での会話を控えることなどが考えられます。个人防护具については対象者と送迎者の両者ともサージカルマスクを着用してください。対象者がマスクを適切に着けられない、大きな声を出す、咳などの症状があるなどの場合は、目の防護具の装着が望ましいと考えますが、運転に支障がないものを使用してください。送迎に際し対象者と直接接触がある場合は、手袋やガウンの使用も考慮されると良いでしょう。施設内で有症状者が多発している、搬送に耐えられないような状態・症状であるなどの場合は、保健所から委託された医師が施設で検査を行うことも想定されます。	障害者支援施設
Q11	症例発生編		エアロゾル感染に関連して、歯磨き支援等で注意する点はありますか？	歯磨きは飛沫の飛び散りが多いケアと言えます。介助する場合はなるべく唾液が飛散しないよう優しく丁寧にブラッシングを行う、うがいは低い位置でゆっくり吐き出すなどの配慮が必要と考えます。新型コロナウイルスに関わらず、日常的に吸痰、口腔ケア、陰部洗浄などの際は、目の防護具の使用が望まれます（もちろん手袋・エプロン・マスクも必要です）。感染症の有無に関わらず全ての人の血液・体液・分泌物・排泄物は感染性があると考え標準予防策に基づき、それらが眼に飛び散ることを防ぐ必要があるためです。	障害児入所施設
Q12	症例発生編	28	口鼻からの感染に対してマスクはほぼ100%着用されているが、目からの感染に対しての対策ができていない状況。ゴーグルやフェイスシールド等を着用100%にしたほうが良いか？	日常の目の防護具の使用についてはQ11の回答を参考にしてください。新型コロナウイルスに関しては、感染者がマスクを着用できない場合、近距離で長時間の接触がある場合、症状が強い場合などは、ケアをする方がマスクを着けていたとしてもリスクは高くなります。そのためケアをする方は、目の防護具を使用するのが安全と考えます。	共同生活援助事業所

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q13	症例発生編	38	保健所の判断で濃厚接触者に認められた場合、その濃厚接触者の方が持病を持っていたとしても、グループホーム内で対応しなければならないのか？入院等の措置を受けることはできるのか？	持病があったとしても、濃厚接触者という理由のみで入院できるということはありません。 福井県では濃厚接触者に過ごしていただくホテルを確保していますが、確保数には限りがあり、また複数の入所要件がありますので濃厚接触者となった誰でもが入れるわけではありません。グループホームに入所中の方は濃厚接触者用のホテルの入所対象とはなりません。	共同生活援助事業所
Q14	症例発生編		施設内で感染者が出た場合、全員が濃厚接触者にあたるとすると職員もそうなると思いますが、その場合自宅には帰らないほうがいいのか？また、その場合当分の間施設で暮らすことになると思いますが、そのスペースがなければ、県が用意している施設(ホテル等)で暮らすことになるのでしょうか？	濃厚接触者となり自宅で過ごされる場合、家庭内感染を予防する点からも他の家族と隔離した生活を送ることをお勧めします。方法については【別紙1】をご参照ください。 福井県では濃厚接触者に過ごしていただくホテルを確保していますが、確保数には限りがあり、また複数の入所要件がありますので濃厚接触者となった誰でもが入れるわけではありません。濃厚接触者となった時点で保健所がご案内します。 日常から濃厚接触者とならないよう、マスクの着用、必要な場面での手指衛生、マスクなしの会話の回避など基本的な感染対策を実施してください。	障害者支援施設
Q15	症例発生編	49	廃棄物について質問させて下さい。 当方、特別養護老人ホームです。研修によると介護老人福祉施設はオムツは一般ゴミで良いとの事でした。 感染者、疑い症例、濃厚接触者のすべての方に対して、鼻汁などがついたゴミは感染性廃棄物で処理が必要だが、オムツや体液が付いていないゴミに限って一般ゴミで良いという事でよろしいのでしょうか？ オムツの中の排泄物にもウイルスの排泄があると思いますが、それは大丈夫ですか？	特別養護老人ホームや障害者支援施設は、廃棄物処理法に定められた感染性廃棄物が排出される施設には該当しませんので、オムツや鼻汁などのゴミも一般ゴミとして廃棄することができます。 ただし、仰る通りウイルスが付着していると考えられるゴミなので、取扱いに注意する必要があります。具体的には、ゴミには直接触れない、ゴミは空気を抜いてからしっかりと縛る、ゴミが袋の外側に触れた場合や袋が破れている場合はゴミ袋を二重にする、ゴミを取り扱った後は手指衛生をするなどです。 法律上は一般ゴミとしての廃棄が可能ですが、施設で感染者が発生した場合、業者が回収を拒否することも想定されるため、あらかじめ、廃棄方法について回収業者と検討することをお勧めします。	介護老人福祉施設
Q16	症例発生編	49	感染症や濃厚接触者オムツの破棄について、感染症廃棄物として処理と言われているが、消毒をして一定期間の時間を空けて可燃物として廃棄してもよいのか？		障害者支援施設
Q17	症例発生編		感染症廃棄物の処理方法は、ゴミ袋などで2重にすれば、通常のゴミと一緒にいいのか？医療廃棄物とも違うと思うので、廃棄方法があれば教えて欲しい。また、市町村ごとで対応は違うのか？		障害者支援施設

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q18	症例発生編	50	GHの洗濯機は共用で使用しても問題ないのか	洗濯機自体を共用することは問題ないと考えますが、洗濯機のボタンや蓋の開閉部分などはよく触れる部分のため、使用後は清拭消毒をされると良いでしょう。 もし入所者が自由に利用する洗濯機（洗濯室）がある場合は、陽性者が出た時点で入所者同士の接触を減らすという理由から、洗濯はスタッフが行うようにすることも必要と考えます。	共同生活援助事業所
Q19	症例発生編		陽性者が発生した場合のゴミやリネン等の収集について、予め業者と打ち合わせをしておいた方がよいとのことだが、予め県から大まかな打ち合わせ等を行ってもらうことはできないか？（ゴミであれば市町に、リネン業者等は予めどの業者を使っているか各施設から集約して通知する等）	県が業者と打ち合わせを行うことはいたしませんので、各施設が通常利用しているゴミ回収業者やクリーニング業者と検討することをお勧めします。	障害者支援施設
Q20	症例発生編		もしもコロナウイルスが施設内に入った場合、県として、施設の職員に対してどのような支援を行ってもらえるか、具体的な支援の仕組みを教えてください。	入所施設において入所者または職員に1人でも感染者が発生した場合、管轄保健所長の判断に基づき福井県クラスター対策班を派遣し、施設の責任者、嘱託医、応援職員などと連携し、以下を行うことを想定しています。 ①積極的疫学調査 施設内の状況把握、濃厚接触者の特定、検査範囲の設定、検体採取 ②感染管理 施設内ゾーニング、施設職員感染対策指導、シフトや業務の見直し ③医療支援 入院トリアージ、入院待機中患者の容態管理	障害者支援施設
Q21	症例発生編	54	応援チームは高齢者施設となっていました。障がい者施設でも派遣していただけるのか	高齢者施設と同様、障がい者施設にも派遣いたします。	共同生活援助事業所 障害者支援施設

新型コロナウイルスに備える社会福祉施設職員研修 質疑応答集

	資料	スライド	質問	回答	質問した施設の種別
Q22	症例発生編	54	陽性者発生時に医療団の派遣と物資供給開始とあるが、防護ガウン等の品について、実物の写真または現物を見る機会を提供して欲しい。見て確認しておくことで同じような品を調達する参考とできる、事前に知ることによって戸惑いが生じないために。	施設における感染拡大に備えて、県が備蓄しているガウンなどについて【別紙2】で写真をお示ししますので、ご確認ください。	障害者支援施設
Q23	症例発生編	54	人的支援をどこに協力依頼するかは検討課題ではないか？と課題提起されているが、県としてのサポートは何か考えているのか？	県は、入所施設等で構成する各団体とそれぞれ「感染症発生時における職員の派遣支援に関する覚書」を交わし、登録施設で感染症が発生し介護などを行う職員の不足が見込まれ、施設や法人内で措置を講じてもなお職員が不足する場合は、事前に登録された応援職員を派遣することとしています。 なお、応援職員の派遣にかかる職員不足の目安について、各団体と協議のうえ覚書等において定めていることがありますので、施設が加盟する団体の覚書をご確認ください。	障害者支援施設
Q24	症例発生編	54	発生時の人員配置、不足職員の確保のイメージと研修資料にあるが、普段の人材不足などから、それを上回る職員の確保となると、限界過ぎてイメージができない。何か参考になる事例はないか。	なお、応援職員の派遣にかかる職員不足の目安について、各団体と協議のうえ覚書等において定めていることがありますので、施設が加盟する団体の覚書をご確認ください。	障害者支援施設
Q25	症例発生編		ゾーニングの基本的な考え方はわかったが、施設それぞれで建物等の違いがあり、職員でエリア分け等しても医療の専門知識が不足しているためそれが合っているのかわからない。事前に、もう少し掘り下げたゾーニングについての研修をしていただけののかそれぞれの施設に専門家に来ていただきゾーニングの指導をしていただくようなことは予定としてあるのか？	現在、県担当者と福井県新型コロナウイルス感染拡大防止対策チームの感染管理認定看護師1名が、高齢者施設・障がい者施設に伺う訪問指導事業を行っています。対象施設数が多いため訪問には時間がかかる可能性があること、訪問指導を希望される施設を優先しているわけではないことなどご了承ください。	共同生活援助事業所
Q26			要望となりますが、各施設では事前にコロナウイルス発生に備えて、検討・対策を講じていますが、発生後に保健所の方の指示を受けるのではなく、事前に保健所などの専門の方に現場を見ていただきゾーニング等のアドバイスをいただいた方がありがたいと思います。もしくは、それらについて相談できる体制を整えていただけるとありがたいです。（←あるのですしたら勉強不足で申し訳ございません。）		共同生活援助事業所

新型コロナウイルスの濃厚接触者となった場合 ご家庭で注意していただきたい5つのポイント

「濃厚接触者」となった場合、初回の検査結果が陰性であっても、感染者との接触日から 14 日間
は症状が出る可能性があります(潜伏期間)。新型コロナウイルス感染症は、症状が出る2日前からヒ
トにうつしてしまう可能性があるため、「濃厚接触者」となった時点で、通勤・通学・外出などヒトと接す
る行動を控える必要があります。家庭内においても、他の家族との接触を最小限としましょう。

その
1

家族と部屋を分けましょう。

- ・居室は個室とし、なるべく居室内で過ごしましょう。
- ・居間などで一緒に過ごさないようにしてください。
- ・食事も別室(居室)で食べる、家族とは時間をずらすなどしてください。
- ・お風呂は最後に入りましょう。

その
2

こまめに手を洗いましょう。

- ・こまめに石けんで手を洗いましょう。
- ・特に家族は、洗っていない手で目・鼻・口を触らないよう気を付けましょう。
- ・タオルは共有せず、ペーパータオルを使うなどしましょう。

その
3

マスクをつけましょう。

- ・会話でも「ひまつ」が飛び散ります。家族と話す場合はマスクをつけて、短時間としましょう。
- ・マスクの表面は「ひまつ」で汚れているため、表面には触れない、触れた場合は手を洗いましょう。

その
4

換気をしましょう。

- ・目安として日中は、30分～1時間毎に10分程度の換気をしましょう。
- ・居室の換気は、扉は閉めて、窓を開けます。
- ・他の部屋の換気は家族が行ってください。扉も窓も開けましょう。

その
5

手で触れる共有部分を消毒しましょう。

- ・ドアの取っ手やノブ・手すりなど家族がよく触れる部分は、薄めた家庭用塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムのもの)で拭き消毒をしましょう。
- ・目安の濃度は0.05%です(製品濃度が5～6%の場合、約5mlを500mlの水で薄めます)。
- ・金属はさびる可能性があるため、拭き消毒のあとに水拭きをしてください。



潜伏期間中の健康観察について

- ・1日2回(朝・夕)は体温をはかりましょう。
- ・発熱・強いだるさ、せきなどの症状が出た場合、速やかに保健所に連絡しましょう。



ガウン



ガウン着用時（前面）



ガウン着用時（背面）



ゴーグル

※ご希望であれば、全身を覆うタイプの防護服も提供できます。

